

# 一般質問 市政を問う

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。質問者順で掲載しています。

さらに詳しい内容は会議録で ※2月末から市議会ホームページや図書館でご覧いただけます。



## 児童虐待防止 知的障がい者の就労

三島久美子 (無所属)

**質問** 本市で児童虐待の通報を受けた際の初動態勢は、  
**答弁** 家庭や保育所等に2人体制で出向き、子どもの安全確認を目視で行っている。この際、国の48時間以内の対応という原則にかかわらず、県の定める24時間以内での対応としている。  
**質問** 産後うつ予防対策として、産後ケア事業と産婦無料健診を導入する考えは、  
**答弁** 事業の実施には、産科、精神科などの医療機関や子育てに関わる関係機関との調整や環境整備などの課題もある。また、実施形態も多様であるため、先進事例も参考に引き続き検討していく。  
**質問** 知的障がい者の就労は、民間企業で最もハードルが高い。市が積極的に取り組み、模範を示すべきと考えるが今後の取り組みは、  
**答弁** 知的障害者の就労には、ジョブコーチや職場介助者が必要とするケースも多いと認識している。また、障害の特性に応じた仕事の切り出しや細分化等、研究を進め、職場の受け入れ体制の整備に努めたい。



## 「おくやみコーナー」の設置を健康長寿のまちづくり

木暮孝夫 (公明党)

**質問** 死亡後の手続きの負担軽減に向けた死亡手続専用窓口設置の考えは、  
**答弁** 昨年度の死亡届件数は4138件あり、行政手続きとしては、葬祭費支給申請、各受給者証の返還、名義変更など、住所や氏名を何度も記載する必要がある、遺族の負担となっている。死亡に特化した専用窓口の導入には受付スペースや人員の確保、システム構築の調整が必要のため、事務手続きを再確認し、改善できる部分はないか関係部署も含め検討したい。  
**質問** 本市の健康寿命延伸への取り組みは、また、健康ポイント制度導入の見通し



## 新町住民体育館

松本賢一 (新風会)

**質問** 建設から50年以上経過した新町住民体育館の現在地での建て替えにおける問題点と建設予定地は、  
**答弁** 現在の立地場所は敷地面積や駐車場が狭く、アクセス道路の幅も狭いため、バスの進入が困難である。災害時の避難場所としての機能も必要であることから新体育館は、弁財天公園に隣接する芝生広場の一角に建設予定である。現在、県の所有地であるため、敷地全体を防災拠点として購入予定である。  
**質問** 新体育館の概要と避難所機能が必要な理由は、  
**答弁** 鉄骨鉄筋コンクリート造の3階建て、延べ床面積約2700平方メートルを計画しており、バレーボールコート2面で競技可能なアリーナと浸水時に屋上へ避難できる機能を備えた体育館とする。国の洪水浸水想定区域によると新町地域は浸水深6メートルに達するため、一時避難場所の確保を進めており、新体育館を防災拠点施設とすることで二千人規模の避難者の受け入れを想定している。



新体育館建設予定地



## 中心市街地活性化基本計画 井野川の災害対策

高橋美奈雄 (市民クラブ)

**質問** 第2期中心市街地活性化基本計画の5年間の成果は。また、高崎駅から離れた商店街を含めた今後の回遊性向上の取り組みは、  
**答弁** 高崎アリーナや駅前広場の整備など国の交付金により効率的に進めることができた。この結果、市内外からの来訪者が増加し、駅周辺のにぎわいが創出された。今後、高崎まつりやだるま市の継続実施で、広範囲の集客を図り、駅周辺のにぎわいを中心市街地全体に波及させる取り組みを



## 農地の規制と規制緩和 これからの水の利用の考え方

大竹隆一 (新風会)

**質問** 農地法による開発の制限と市街化調整区域の開発規制緩和の在り方は、  
**答弁** 農地の開発は、農地法による農地転用の要件や他法令の要件を満たすことが条件である。また、本市では市街化調整区域の人口減少の解消を目的に、条例で一戸建ての自己用の住宅に限り建築を可能としてい



## 災害時における本市の対応

時田裕之 (新風会)

**質問** 本市の避難所の開設や運営体制は、  
**答弁** 年度当初に職員が避難所開設担当者として地元区長らと備蓄品の確認を行い、災害時には初期段階の避難所業務を行う。大規模災害により避難所開設期間の長期化が見込まれる場合には物資や食料の調達など多くの業務が想定されることから、平成29年に避難所運営マニュアルを全町内会



避難所開設訓練の様子



## 有害スラグへの対策

依田好明 (日本共産党)

**質問** 箕郷地域の公園で検出された鉛やヒ素などを含む有害スラグの使用時期は、また、厚さや量ほどの程度か、  
**答弁** 公園2カ所と市道の一部に施工が確認されており、施工時期は、合併前の平成16年から17年頃と思われる。また、面積は約3600平方メートル、厚さは平均11センチメートル、全体の量は400立方メートル程度である。  
**質問** 公園以外の場所でも有害スラグを除草効果があ

